

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 奈良市立興東館柳生中学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒630-1242
奈良県奈良市大柳生町832番地

E-mail koutoukanyagyuu-j@naracity.ed.jp

Website <http://www.naracity.ed.jp/jhs01/index.cfm/13.html>

児童生徒数 男子 26 名 女子 16 名 合計 42 名
児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について

本校はともにユネスコスクール加盟校であった興東中学校と柳生中学校が統合して、平成27年4月より、興東館柳生中学校としてスタートした中学校です。奈良市東部に位置し、統合以前から校区内にある豊かな自然や郷土の伝統を教材としてESDに取り組んできた経緯があり、本年度は両校の良いもの取捨選択し、理科・「総合的な学習の時間」等に実践した次の2つをもの中心に報告します。

1. 水生生物観察

日時；2015年9月7日（月）4限目（当初6限目、天候で変更）

場所；白砂川流域（本校前の大柳生町付近）

対象学年；1・2年（引率指導として1・2年担当教員）

活動内容；

高校理科教諭を講師として招へいし、自治会会長様・副会長様やホタルの里保全会リーダー様からホタルの生息地として地域としても大切な川である話を聞き、水生生物の観察上の注意（上流に向かって瀬の石の下や葦の根元ぎわを観察し、砂の中の石の重さや水の流れの速さに注意することなど）聞き、観察を行った。生徒は2人ペアとなりアミ、ザル、バット、ピンセット、虫眼鏡、フィルムケース等を持って移動した。

事後には過去3回のデータと比較し、予想した水質の階級と観察生物から水質階級を吟味した。今後も調査・観察を継続する予定である。

2. 大柳生太鼓踊り

ねらい及び取組の流れ；

校区の歴史を知り、この地域に生きる誇りを感じるために、講師を招き、大柳生太鼓踊り（県指定無形文化財）についてのビデオ視聴や実演を見た後、地域の歴史について全校で学んだ。その後、ふれあい広場2015（地域の方及び小・中学校の参加する交流発表会）に向けて、3年生は大柳生太鼓踊りの演技に、2年生は柳生の歴史文化を紹介する劇発表に、1年生は大柳生太鼓踊りの由来を紹介する劇発表に取り組んだ。

3年生は、シナイ・小太鼓をつける踊り手・大太鼓・鉦（ショウ）の役割分担を決め、合計7時間にわたり講師（自治連合会・自治会長・副会長・大柳生太鼓踊り保存会会長）の指導を受けて発表した。また、発表終了後は、後輩に引き継ぐため、2・3年の合同練習会も持った。

3. その他

今後の地域を支える世代を育てるため、生徒会活動の一環として全校のボランティア活動として、校区の公共施設などにプランターに植えた花を贈ったり、校区内を重点的に清掃するクリーン活動も定期テストの最終日に実施したりしている。

また、3学期には、1・2年生の新年の決意発表会や百人一首大会に地域の万年青年クラブの方を招いて交流を深めている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）



水生生物観察 1



水生生物観察 2



大柳生太鼓踊り 1



大柳生太鼓踊り 2



新年の決意発表会



百人一首大会